

【私たち慈恩寺小学校の教職員は、いじめを絶対許しません!】

つよく たくしく なかよく ～きらりと輝く慈小っ子～

子どもに『笑顔、自信、学力』を

慈恩寺小だより
やまぶき

さいたま市立慈恩寺小学校

令和7年8月27日 8・9月号

〒339-0009 さいたま市岩槻区慈恩寺259

TEL 048-794-1140/FAX 048-795-0377

学校 Web ページ URL: <https://jionji-e.saitama-city.ed.jp/>



自ら考えて行動する力 ～ベトナム旅行後記

もちづき やすし

校長 望月 泰志

今年も連日のように酷暑日が続きましたが、よい夏休みは送れましたでしょうか。私は8月上旬、ベトナムへ行ってきました。成田空港からダナン国際空港まで約5時間。現地気温は36℃、本市とほぼ同気温・同湿度。ダナン市はベトナム第3の都市でベトナムの中央に位置する港湾都市。近年、観光地化が進み、外国人観光客が多く、空港の駐車場では数台のタクシーがクラクションを鳴らしていました。その音量に圧倒されるも、「ここは観光地だから仕方ないなあ」と乗車。「街に出れば静かになるだろう」と車窓から異国の街並みを楽しんでいると、視界には想定以上の車・バイク行列。そして、倍増されたクラクション音。私は「今日は特別な日なのか」とドライバーさんに聞いてみると、「いつも通り」という回答。滞在中、私は大通りに面した海沿いのホテル、古都ホイアン、フエに宿をとりましたが、全ての場所において、クラクション音は鳴りやまず、いつの間にか、生活音になっていました。それとともに「なるほど!」と様々なことに気づきました。

気付き①「ベトナムの道路には信号が少ない」 *ベトナムは、車両が右側通行です。

対面3車線(計6車線)の道路にもほとんど信号が設置されていません。「では、どうやって車は右折、左折するのでしょうか?」答えは「右折は信号が赤でも右折できれば可能。左折は曲がりたい場所に車を停止させ、対向車線を観察しながら、自転車をじりじりと少しずつ前進させていきます。すると、対向車も自然に停車して、左折させてくれます。」

気付き②「クラクションを鳴らす意味がある」

ベトナムの交通ルールについて調べてみました。ベトナムの交通ルールでは、クラクションは単なる警告ではなく、コミュニケーション手段として頻繁に使われます。日本では緊急時以外はクラクションを避ける傾向がありますが、ベトナムでは自己主張や存在確認、周囲への注意喚起など、様々な場面で積極的にクラクションが活用されます。(参考:Google AI)

気付き③「クラクションを鳴らしても、鳴らされても、ドライバーさんはブンブン怒っていない」

クラクションは「コミュニケーション手段」と知って、「なるほど」と感じました。確かに、ベトナムではクラクションを鳴らす人も、鳴らされる人も不快な表情をしていないのです。つまり、ドライバー同士、互いが分かり合い、信用し合い、意思疎通を図っているのです。

気付き④「歩行者も信号なしの大通りを横断する」

私はホテルから大通りを渡って海岸へ出ようとしたのですが、信号がなく渡れません。そこで周りの人を観察しました。すると、なんと現地の人も観光客も、車がビュンビュン走っている道路を勇敢に渡っていくのです。そんな命知らず?の人間に対して、クラクションを鳴らす車両はほとんどありません。人も車もバイクも、互いが触れ合わないよう、安全な距離間隔を保って、上手に通行し合っていました。

気付き⑤「ドライバー、歩行者、みんなが自分で交通ルールを守り、安全に生活をしている」

「道路に信号がないこと」は決して公共インフラ不整備という「負の環境」ではなく、自分で考え自分で答えを導きだし自分で行動する「生きる力」を醸成させる「正の環境」ではないかと感じました。車の状況を自分の目で見て、状況を把握・分析し、判断・行動する。これこそ「生きる力」育成の場一例です。社会のなかに、決まりやルールがあることも安全な生活を送るうえで大切なことですが、それによって、人間は「自分で考えること、自分で答えを出して、行動すること」を省くことができます。決まりに守られているからです。しかし、決まりに守られすぎると、その弊害として、他力本願、依存偏重にもなりかねません。

現行学習指導要領総則では、「生きる力をはぐくむことを目指し、(中略)自ら学び自ら考える力の育成を図る(中略)教育の充実に努めなければならない」とされています。今回の経験を通して、異国には「生きる力」を養う場面が多く存在することを痛感しました。そして、学校教育の中にも、子ども達の生きる力を育む機会を作ってあげることの大切さを感じました。

(夏休みに読んだ本)複数冊の本を読みました。その中から1冊紹介します。

『面白すぎて時間を忘れる「毒」の世界』 三笠書房 著者:田中真知 監修:鈴木 勉

カイデイン帝墓やフエの王宮において、ガイドさんに「多くの皇帝が毒を盛られた」という説明を聞いて興味を持ちました。毒のしくみから、動植物や鉱物の毒など、わかりやすく解説されています。



【学校からのお知らせ】 ※紙媒体を希望される御家庭は、連絡帳にて担任までお知らせください。

○昇降口の開錠時刻について【8月27日(水)から変更】

- ・2学期より、不審者の侵入を防ぐため、昇降口の開錠時間は「7時50分」とします。
- ・登校時刻は「7時55分～8時05分」の間となりますので、集合時間の確認をお願いいたします。
- ・登下校時以外は、すべての門を閉めます。御来校の際は、正門からお入りください。

○教科書配付について

- ・9月1日(月)に、後期に使う教科書を配付します。すべての教科書に記名をお願いします。乱丁・落丁や、不足分があった場合は、担任までお知らせください。

○下校時刻について

- ・9月22日(月)～29日(月)は、成績処理週間のため、短縮日課となり、下校時刻が早くなります。「8・9月の行事予定」にて、下校時刻を確認してください。
- ・放課後に子どもたちが自由に過ごせる時間が長くなります。学校では、放課後の過ごし方として「危険な場所では遊ばない」「危険な遊びはしない」よう指導しています。交通事故防止や地域の方々に迷惑をかけない過ごし方等、今一度御家庭でお子さんと一緒に確認をお願いします。

○学校給食費について

- ・学校給食費第3期(7月分)の納付期限(口座振替日)は9月30日(火)です。口座登録済みの方は、残高不足にご注意ください。
問合せ先:おいしい給食サポート課給食会計係 048-829-1591

【学年からのお知らせ】

【3年】

1 校外学習のお知らせ

- (1) 期日 9月11日(木) 出発8:30 帰校予定12:40 (午前中のみ見学です。学校に戻り、給食を食べます。)
- (2) 場所 人形博物館、岩槻消防署
- (3) 持ち物 肩かけ水筒

2 理科の学習に関するお願い

- (1) 観察をしたハウセンカの鉢は、ご家庭で保管をお願いします。取れた種のみを持ってきてください。
- (2) 虫取りをします。虫かご(中くらいの大きさ)、虫取り網がある人は、9月3日(水)までに持ってきてください。

【5年】

1 家庭科「ランチョンマットのキット」の申込みについて

- ・8月28日(木)にランチョンマットの申込み封筒を配付します。「ランチョンマット」もしくは「リバーシブルランチョンマット」の中から好きな柄を選び、代金を入れて封をして学校に持たせてください。【申込締切 9月5日(金)】

2 自然の教室の返金について

- ・1人当たり1,200円の返金となります。9月1日(月)に、集金袋に入れて返金します。集金袋に領収印を押して、学校に返却をお願いします。

【6年】

1 理科の「月の形と太陽」の宿題について

- ・夜間に月を観察する内容が含まれておりますので、お子さんが安全に取り組めるよう、ご家庭での見守りをお願いします。交通安全や防犯にもご配慮いただき、無理のない範囲でご協力いただけますと幸いです。

2 家庭科の「ソーイングで生活を豊かに」の学習について

- ・布を用いた物の製作を行います。ミシンボランティアのご協力をお願いします。詳細に関しては、安心メールにてお知らせします。

3 修学旅行について

- ・10月2日(木)・3日(金)に日光方面に修学旅行に行きます。朝早くからの活動となります。日頃から十分な睡眠・食事を心がけ、万全の状態でご日を迎えられるよう、お子さんの体調管理をお願いします。